

修了生の活躍事例

元々ものづくりが好きで、機械分野について興味がありました。知り合いの卒業生の方から、近畿能開大では機械について一から学べるとの勧めもあり、生産技術科（専門課程）に進学しました。

生産技術科で学んだ溶接やCADの技術が、溶接構造物製造の業務に活かされています。応用課程での、グループワークで培った図面の見方や工程管理は、現在の仕事において不可欠なものになっています。在学中に表計算ソフトやプログラミングに関することをもっと深く取り組んでおけば、さらに多くのことができるようになったのではと感じています。

将来は現場の経験と知識を活かし、より良い製品を生み出すために貢献したいです。

株式会社横河ブリッジ
アドバンストエンジニアリング事業部
生産部 生産第二課

坪佐 佳浩 さん (28)

近畿職業能力開発大学校
応用課程 生産機械システム技術科

令和2年度 修了



就職先企業での活躍

坪佐 佳浩さんの業務

アドバンストエンジニアリング事業部では、鋼構造物メーカーの100年の歴史で培った技術力を基に、最先端の精密製造装置に用いられる高精度な溶接構造体フレーム製造を行っており、設計から製造・納品までを一貫して提供しています。

坪佐さんは現在、溶接製造管理、材料手配等の業務を担当しています。

上司からの声

アドバンストエンジニアリング事業部
生産部 生産第二課長 齊藤 司 様

元気がよく人当たりもいいので、周囲から好かれる坪佐さん。入社以来、溶接構造物の業務を担当し、基礎が身につけているため、品質の高い製品を生み出しています。また機械加工の知識もあるので、後工程との連携もスムーズに進め、チーム全体の効率化に貢献しています。会社の発展のために頑張ってもらいたいです。



株式会社 横河ブリッジ アドバンストエンジニアリング事業部 現在近畿ポリテクカレッジの修了生2名が活躍 (大阪府和泉市、岸和田市)

横河ブリッジは、1907年の創業以来、国内橋梁のトップメーカーとして、鋼製橋梁の設計、製作、架設を行ってきました。長年にわたる橋梁事業で培った鋼構造の設計、製作技術を活かして、2005年に新たな事業として精密機器事業をスタートさせ、世界の最先端の半導体、液晶・有機ELパネルなどを製造する精密製造装置において、その骨格となる精密な鋼構造フレームを開発、設計、製造しています。

(製品例)

- ・ 明石海峡大橋
- ・ レインボーブリッジ
- ・ 大阪駅（橋上駅舎、南北架構、東西架構、ドーム屋根の鉄骨工事を施工）
- ・ 新国立競技場

